

福岡市教育委員会賞

「税金の大切さ」

福岡市立春吉中学校 3年

飯干 菜子

私は税金がどのように使われているのか、詳しく理解していませんでした。しかし、日ごろ私たちが払っている税金が、私の将来の目標に深く関係していることに祖母との会話の中で気付きました。

私の将来の夢は児童保護員になることです。児童保護員を目指すきっかけとなったのは、小学三年生の夏休みに、祖母の働いている保育園に連れて行ってもらったことでした。

当時、そこで働く祖母や職員の先生方の働く姿がとても生き生きしていたため、私は非常にあこがれました。私も将来保育士になりたいと思いました。その次の年からも祖母は私を夏休みになると毎年のように、仕事場である保育園に連れて行ってくれました。私は中学一年生の夏休みに幼児クラスの手伝いを体験させてもらいました。そこで私は保育園の隣にある児童保護施設の話を知りました。この話は祖母からも聞いてはいたのですが、その時よりも興味を持ちました。家に帰って施設での話を詳しく聞いたり、そこで働いている祖母の写真を見せてもらったりしました。その写真にはキラキラした笑顔で、親がいなくても楽しそうに生活している子どもたちの姿がありました。それを見て、保育士になるという目標以上に児童保護施設で働いてみたいという気持ちの方が大きくなりました。

そこで私は、児童保護施設について調べました。施設で生活している子どもの養育費や食費などは、一部は親族などから出されていますが、そのほとんどは税金で賄われています。そのことを知って、今までの税金に対する見方が変わりました。

今日、税金の値上げのニュースが沢山流れています。税金が上がると生活者である私たちの負担は大きくなりますが、税金で多くの子どもたちの生活を支え、沢山の笑顔につながると考えると、税金に対しての考え方が少しは変わると思います。税金はこのこと以外にも私達の生活を豊かにするために、いろいろなところで使われています。多くの人は税金が増えると困ると言いますが、税金を減らすだけでは、かえって生活が不便になったり本当に困った人を助けることができないと思います。私は税金の使い方が大事であって税金は必要不可欠なものだと思います。

だから、税金を減らすことばかりを考えるのではなくて、税をどのように使うかを税金を払っている全ての人が真剣に考えることで、今以上に豊かで安心、安全な生活ができ税金の大切さに気付くことができると思います。